

第19回 日本ファーマシューティカルコミュニケーション学会大会

「総合的に患者・生活者をみる姿勢」を育むコミュニケーションを考える

会 期

2025年 **9/28 日** 9:20 ▶ 16:00

会 場

日本大学薬学部 〒274-8555 千葉県船橋市習志野台 7-7-1

大 会 長

渡邊 文之 日本大学薬学部

実行委員長

中島 理恵 日本大学薬学部

研修認定

薬剤師研修センター認定研修:4単位

参 加 費

事前登録 会員 4,000円／非会員 6,000円

当日登録 会員 5,000円／非会員 7,000円

※本学会並びに後援団体全ての会員が会員価格で登録できます。

学生 無料(学生証提示)

※社会人の学生は除く。



一般演題募集

▶ 7月14日(月)締切

事前参加登録

▶ 8月28日(木)締切



<https://pcoken.jp/conferences/r07/>

シンポジウム1

共感をを超えて未来を描く:緩和ケアで希望を紡ぐコミュニケーション

- ◆ 加藤 実 春日部市立医療センター ペインクリニック内科
- ◆ 城山 亮輔 東京大学医学部附属病院 薬剤部
- ◆ 餅原 弘樹 いぶきの森のぞみの花クリニック
- ◆ 川井 朋子 上永谷薬局

特別講演

アレルギー患者家族として薬剤師の対応に期待すること

- ◆ 栗田 祥子 NPO法人アレルギーを考える母の会

ランチョンセミナー

新モデル・コア・カリキュラムで求められる「総合的に患者・生活者をみる姿勢」とは

- ◆ 有田 悦子 北里大学薬学部

一般演題ポスター発表／企業展示

シンポジウム2

薬剤師が服薬支援に認知行動療法を活用することの意義と可能性

- ◆ 菊地 俊暁 慶応義塾大学医学部 精神・神経科学教室
- ◆ 鈴木 康友 森のシティ薬局2号店
- ◆ 坂井 信之 望星薬局 本局
- ◆ 増田 由佳子 東京さつきホスピタル

主 催

日本ファーマシューティカルコミュニケーション学会 <https://pcoken.jp/>

主催事務局

日本大学薬学部 地域医療薬学研究室内

担当 中島 理恵

〒274-8555 千葉県船橋市習志野台 7-7-1

E-Mail: nakajima.rie@nihon-u.ac.jp TEL:047-465-7389

後 援

日本薬剤師会、日本病院薬剤師会、薬学教育協議会、日本薬学教育学会
日本認知療法・認知行動療法学会、千葉県薬剤師会、千葉県病院薬剤師会